学校番号	４０５

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	『精選　国語総合』（東京書籍）						
副教材等	『トータルサポート　国語便覧』（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文の時間では、物語文・評論文・詩・和歌など幅広い文章を通じて「読む能力」の向上を心がけて欲しいと思います。また、意見文・感想文の記述や他者との交流を通じて「書く能力」「話す・聞く能力」を身につけて欲しいと思います。
・古典の時間では、主要な作品に親しみを持ち、内容理解のために基礎的な語句や文法の知識を身につけて欲しいと思います。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期テスト 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	Br	c	d	e		
1学期	随想	教材「届く言葉」	○			○	○	a:随想の読み方を習得しようとしている。また、作品の筆者の主張に触れようとし、かつこれからの実生活に筆者の主張を活かしていこうとする。 d: 随想の読み方を習得している。また、作品の筆者の主張に触れ、実生活に筆者の主張を活かしていこうとしている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	評論	教材「水の東西」 教材「今ここにある無数の未知」	○			○	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	表現の実践	教材「意見文を書く」	○	○	○		○	a:意見文を書いて、それに対する他の人の意見を聞くことにより、ものの見方や考え方を広げようとしている。 b:自分の書いた意見文をもとに発表し、他者の発表内容を的確に聞き取れている。 c:構成を考え、根拠を明らかにした意見文を書いている。 e:意見文の書き方を理解している。引用文献の明示の仕方を理解している。	a:行動の観察 b:発表時の態度とその内容 c:記述の確認 e:記述の確認

	小説	教材「羅生門」	○			○	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	古文入門	【古典】 教材 「児のそら寝」「絵仏師良秀」 『宇治拾遺物語』	○			○	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
2学期	詩	教材「汚れつちまつた悲しみに」 教材「I was born」	○			○	○	a:散文とは異なる詩ならではのイメージを、積極的に味わおうとする。 d:詩で描かれたイメージや詩にこめられて作者の思いを読み取っている。 e:詩に用いられている表現の効果について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	小説	教材「富岳百景」	○			○	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査

	評論	教材「欲望と科学」 教材「時間と自由の関係について」	○			○	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	短歌・俳句	教材 「十五の心」 「白牡丹」	○			○	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	物語を楽しむ・随筆を読む	【古典】 教材 「天の羽衣」 『竹取物語』 「漂泊の思ひ」 『奥の細道』	○			○	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	漢文入門・故事成語	【古典】 教材 「訓読の基本」 故事成語 「矛盾」 『韓非子』	○			○	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
3学期	評論	教材「まちの豊かさとは何か」	○			○	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査

	小説	教材「城の崎にて」	○			○	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	軍記物語を読む	【古典】 教材 「木曽の最期」 『平家物語』	○			○	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	和歌と俳諧	【古典】 教材 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	○			○	○	a:和歌の優れた表現に親しもうとする。和歌に詠まれた思想・感情や情景を読み取ろうとする。 d:和歌の優れた表現を理解している。和歌に詠まれた思想・感情や情景を読み取っている。 e:句切れに注意して和歌を正しく朗読している。和歌の修辞技巧を理解している。和歌の出典を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	中国の思想	【古典】 教材 『論語』	○			○	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。